

そよかぜ

SOYOKAZE

あなたにとって男女共同参画とは

平成11年6月に男女共同参画社会基本法が公布・施行された当初と今では、社会情勢は大きく変化しました。

私たちの男女共同参画に対する意識も、求めることも変化してきたように思います。

今号では、改めて男女共同参画について、どんな考えやイメージを持っているのか、さまざまな年代の方に率直な意見を寄せていただきました。

※男女共同参画社会（だんじょきょうどうさんかくしゃかい）とは、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」のこと。

ひとひと 「女と男」と聞いて連想するもの.....

助け合う存在 パートナー

視点が違い、
受けとめられるときは安心する存在

受けとめられないときは、お互いが頑固者の存在とみる

この世の存在する全て

夢と現実を思い知る存在

すれちがい.....

市民の方から寄せられた意見 ② ③

情報コーナー・編集後記 ④



「男女共同参画」ってなん

10代・20代

中学校で習いました。男女平等ということです。(10代 男性)



女と男って文字を見てイメージすることは、全く別の生き物。

女の方は、子どもを産んだら家の事をする。男の方は、定年まで働き家族を養う。古い考えだけど、若い自分にもこのようなイメージが定着しています。(20代 男性)

「草食系男子」が増えて、頼りない男性が多い今、意欲ある女性が仕事に就いたり、上役になり、責任ある立場に就くのは、今後の発展上良いことだと思います。

(20代 男性)

子どものためにも奥さんには、家庭に入ってほしい。(20代 男性)

あまり興味を持って考えたことがないのでわかりません。(20代 女性)

アンケート お尋ね

女(ひと)と男(ひと)という言葉からイメージする(こと)とは？



50代

女性も男性もすべて“ひと”であることをアピールする意図を感じますが、それを謳わずにすむ意識をすべてのひとが持てることが大切なのではないでしょうか。今のところはその意識を浸透させるためにあえて“必要かな”とは思いますが。(50代 女性)



男女共同参画=男女平等という構図をイメージしますが、男女の役割は、同じになることはできないと考えます。役割分担が違って、それを認識しての男女共同参画であることを小さい頃から学ぶことが大切なのだと思います。(50代 女性)

ジェンダーとしての平等を言いながら、まだまだ意識や考え方には不平等がある。

しかし、何年もかけて築かれてきた社会構造や習慣はすぐに変えられるものではなく、真の平等を求めるためには、越えなければならない壁がたくさんあると思う。(50代 男性)

男女も人と人もコミュニケーションが大切である。

きちんと行っていかなくてはいけない。(50代 男性)

ありがとうございました

だるう?

トで
しました

男女共同参画について、どのような考えをお持ちですか?



市民の皆さんのご協力



市民のみなさんに男女共同参画についての声を、寄せていただきました。あなたはどうかお考えでしょうか?

30代・40代

女性も男性も働きやすいことは良いことであるが、私は男の人のお給料が良くなって、女性が家を安心して守る形も良いと思う。
学校で問題を起こす子も寂しい子が多い。家において、子どもを見守りたい。
男・女、同じように働ける社会を目指すことは悪いことではないけど、男の人のお給料が良くなるほうが良い。(40代 女性)

「男だからこうあるべき」とか、「女だからあしなくてはならない」というとらわれや、思い込み、束縛から解放された自由なイメージを持ちます。ですが、「女(ひと)男(ひと)」に至るまでにはとても困難な道のりがあるように思います。(30代 女性)

人と人 社会問題はつながっています。つながる社会が豊かな社会、お金だけではないです。(30代 女性)

働くことを望まない人々が共同参画を妨げている面がある。(30代 男性)

今の時代、改めて男女共同とすること自体、如何なものか。また本来、どのようなことを言っているのか。根本を見失っている気がします。(40代 男性)

60代・70代

なんとなく堅い感じがして、よくわからない。具体的に、どのようなことを言っているのか、やろうとしているのか難しく感じます。(60代 男性)



イメージ → 四つ葉のクローバー / 支え合い、学び合い、助け合い、幸せ、共感、創造、尊重、受容、信頼

人間的性差ではなく、今を生きる同じ人間として理解し合い、学び合い、共に育んでいける環境づくりが望まれます。(60代 女性)

思いやり (70代 男性)

社会でも、家でも、昔から比べると平等になってきていると感じる。(70代 女性)

一つの目的を成し遂げるために、男女それぞれの持ち味を出し合って行動すること。日本人はどちらかと言うと「これは男のやる仕事ではない」「女にはムリよ!」とかで拒絶する人が多い。(60代 男性)

第9回 ひとひと 男と女のつどいを開催

平成24年6月23日(土)、中央公民館において「男と女のつどい」を開催しました。この催しは、久喜市と「女と男いきいきネットワーク久喜」との共催で毎年行っているものです。ワークショップや作品展示のほか、喫茶コーナー、子ども広場、お抹茶をどうぞ、舞台発表などで今年も多くの方々にぎわいました。記念講演は、「僕らの生活」“フリーターから自営業へ 引きこもり系パン屋の生活”と題し、翠玉堂パン屋店主の平川真之さんに講演をいただきました。引きこもり体験、フリーター時代を経てパン屋を開くまでの平川さんのお話に、参加者からたくさんの質問が寄せられました。会場内100人を超える参加者とおしゃべりをするような、楽しいフリートークイベントになりました。



1日体験学習ツアー

身近なところで、男女共同参画について学習する事業として、平成24年6月8日(金)に埼玉県平和資料館(東松山市)を訪問し、男女の人権が尊重される社会の基礎となる平和の尊さについて学習をしました。また、埼玉県の伝統工芸品の一つ、小川町の和紙について学びました。参加した24人は、埼玉伝統工芸会館において紙すき体験として、和紙のはがき(花葉入り)づくりを行い、楽しみながらの学習と交流のひとときを過ごすことができました。



参加した24人は、埼玉伝統工芸会館において紙すき体験として、和紙のはがき(花葉入り)づくりを行い、楽しみながらの学習と交流のひとときを過ごすことができました。

毎年6/23～6/29は「男女共同参画週間」です。久喜市では毎年6月を男女共同参画推進月間として、つどいやバスツアーを開催しています

ご利用ください!

女性の悩み相談

(カウンセリング相談)



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

- 相談日程** 原則毎月第1・第3金曜日
午後1時～午後5時
- 相談会場** 久喜市役所4階 相談室3
- 相談時間** 1人50分
- 対象** 市内在住・在勤・在学の女性
(受付は、申し込み順)
- 相談員** 女性カウンセラー(臨床心理士)
- 費用** 無料
- 申込方法** 電話又は窓口で受け付けます。

ひとひと 女と男いきいきネットワーク久喜 会員募集します

会員相互の交流を深めながら豊かな地域社会づくりを目指して、ともに学び、地域の輪を広げるための活動を行っています。皆様のご加入をお待ちしています。(団体・個人でも可)



申し込み・問合せ 同団体会長 倉持まで
電話/FAX 0480(22)4545

* そよかぜの編集員を募集します *

「そよかぜ」は、市民の編集員により企画・編集されています。男女共同参画や情報紙づくりに関心のあるみなさん、一緒に情報紙をつくってみませんか。

募集人数 5人
応募方法・応募期限 後日、広報・ホームページにてお知らせします。
情報紙発行回数 年1回、3月を予定



久喜市は、お互いを認め合える社会を築くため、「人間尊重・平和都市」を宣言しました

編集後記

今回、多くの方々のご意見に触れ、改めて男女共同参画の奥深さに気づかされました。大きなテーマに苦戦しながらも、皆さんの声を身近に感じながら、議論を重ねることが出来ました。

アンケートにご協力頂いたおひとりおひとりの方々に心よりお礼申し上げます。

編集スタッフ 工藤憲代・佐藤怜子・関根寿美子・田村悦江・廣瀬守明



◆発行/久喜市総務部人権推進課

この情報紙は59,000部作成し、1部あたりの単価は4円です。

2100
この情報紙は古紙100%の再生紙を使用しています。

〒346-8501 久喜市下早見85-3

電話: 0480-22-1111(内線2322) FAX: 0480-22-3319 メールアドレス: jinken@city.kuki.lg.jp